

「夢に挑む。」

TEAM TAKASE 2009全日本モトクロス選手権シリーズ参戦レポート 第3戦 関東大会

スポンサー様各位

TEAM TAKASE代表 田中教世

2009 MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ第3戦関東大会は、4月18～19日に埼玉県川越市老袋のウェストポイント オフロードヴィレッジで開催されました。この大会にグリーンクラブ TEAM TAKASEからは、IA1クラスの田中教世とIBクラスの倉田 翔の2名が参戦しました。IA2クラスの加藤吏一は怪我のため開幕戦から、また飯沼泰裕も前回近畿大会の事前練習で怪我をしてしまい、引き続き今大会も欠場することになりました。

第2戦近畿大会から中1週というタイトなスケジュールで迎えた今大会。TEAM TAKASEは木曜日に集合し、積み込みなどの作業を行って夕方三田から移動を開始。途中愛知在住の倉田と合流し、中央道経由で約8時間かけ金曜日の早朝会場入りしました。天候は、パドックの設営や車検などが行われる金曜日終日小雨が降り続いたものの、夜には回復し、土日は強い日差しが照りつける快晴となりました。

会場のオフロードヴィレッジは、河川敷に造られたコースで基本的にフラット。コーナーやコンビネーションジャンプ、フープスなどが連続するテクニカルなレイアウトが特徴です。路面は元々硬質ですが、コースには部分的に大量のウッドチップが搬入され、チップが入った部分と元々の硬質土部分ではコンディションが大きく異なり、ジャンプのアプローチなど、少しでもタイヤ滑らせてしまうと飛び切れなかったりバランスを崩してしまうなど、独特の難しさを持つコースです。

大会期間中は、首都圏での開催ということもあり、土日も大勢の観客が足を運んでくださいました。公式発表で16000人という観客数は今シーズン最多。また、今回もTEAM TAKASEのサポーターの皆様や、ファンの皆様にも大勢来ていただき、コーデサイドで振られる応援の旗や、力強い声援に後押しされてレースに望むことができました。

IA1クラスに参戦した田中教世は、怪我で欠場中のカワサキワークスチーム、K.R.T.のピンチヒッターとして、今大会も引き続きワークスマシン KX450F-SRで参戦することになりました。ワークスマシンでの参戦は責任も重大ですが、ポテンシャルの高いマシンでレースに出場出来ること、開発に貢献できることを嬉しく思うと同時に、チャンスをくれたカワサキに改めて感謝している次第です。

予選。IA1クラスの田中は、手の痛みを堪えながら10番手で決勝進出。倉田はIB2クラスがA組の8番手で予選通過を果たしましたが、午後のIB Openは混戦のなかで転倒してしまい、挽回を図るもA組18番手で決勝進出はなりませんでした。

IA1クラス決勝。第1ヒート、好スタートを決めた田中は、真っ先に1コーナーをクリアすると、続く2コーナーも確実にラインをキープしてトップに立ち、1周目1位でコントロールラインを通過。2周目まで熱田孝高(ホンダ)を抑えレースをリードした田中でしたが、手の痛みからトップスピードを維持することが出来ず、3周目には4番手に後退。その後も全力で走行を続けた田中は、激しいバトルを凌ぎ6位でチェッカーを受けました。

第2ヒート田中は、1周目5番手でコントロールラインをクリア。トップ争いには絡むことが出来なかったものの、最後までベースを保って全力走行を続けた田中は、16周目に前を走っていたライダーの転倒でポジションを一つ上げ4位でフィニッシュ。総合も4位。この結果ポイントランキングはひとつ上がって6位という成績で、苦戦が予想された今大会を乗り切ることが出来ました。

IB2クラス決勝に臨んだ倉田は、スタート直後の1コーナーでミスし、1周目16番手でコントロールラインを通過。その後着実にポジションを上げ11周目には10番手まで順位を回復させた倉田でしたが、更に上を狙った倉田は残り2周で転倒を喫し、結果16位でチェッカーを受けました。

IBの倉田以外、怪我で納得のいく成果は出せませんでしたが、第4戦からは加藤、飯沼も復帰しTEAM TAKASEがようやく全員揃ってスタートラインに着く予定です。シーズンは中盤となりますが、チームとして新たなスタートを切るつもりで挑みます。引き続き応援をお願いします。



IA1 #5 田中教世

第2戦からのインターバルは、ランキングや下半身のトレーニングを行った以外バイクに乗ることは出来ず治療に専念したのですが、到底完治には至りませんでした。しかし、沢山のスタッフやファン、スポンサーさんのサポートのおかげで、なんとか最後まで走りきることが出来ました。

ヒート1ではスタートをホールショットで出ることが出来ましたが、トップスピードを維持する事が出来ず、結果は6位でした。ヒート2は、トップグループの転倒にも助けられなんとか4位で終える事が出来ました。怪我している中、両

ヒート纏めることが出来たのは、本当に皆さんのお陰だと思っています。帰ったらすぐに手術を受けて、まずは治療に専念します。第4戦からはチーム員が揃って出場出来ると思います。チーム一同頑張ります。引き続き宜しくお願い致します。

IA2 #555 加藤吏一

僕は今大会も引き続き欠場となりレースを観戦したのですが、コースサイドで見ていると、IA2のトップ3はズバ抜けていると思いました。次の中国大会から出場するので、あのトップ3に割って入れるように、頑張っていきます。次の

大会がTEAM TAKASEの一員としてデビュー戦となるので、応援よろしくをお願いします。

IA2 #82飯沼泰裕

近畿大会の事前練習で足首を骨折してしまい、今大会も欠場になりました。怪我の方は順調に治ってきていますので、次の広島まで練習に励み、気を引き締めて行きたいと思っています。次戦中国大会から復帰になります。今回はチームのヘルプをしていましたが、やっぱりライダーである限りレースに出たかったです。でも、監督にこころ一番のパワーを見せてもらって、すごく勉強になりました。

IB Open/IB2 #36 倉田 翔

IB2はスタート出たんですが、1コーナーでミスしてしまい、結果20番くらいでレース開始になりました。そこから追いついて、レース終盤には一桁まで上がったんですが、ラスト2周というところで転倒してしまい、16位で終わりました。IB Openは予選落ちしてしまいました。全体を振り返って、まずは去年の悪い所を直っていない。繰り返し同じ事をしてしまっている。メンタル面、追い込み不足でこういう結果になったのだと思います。次の広島では、同じ過ちは絶対にしないように、しっかりと結果を出したいです！